

本市では、北部地域内に存在する「地震時等に著しく危険な密集市街地（※1）」を解消することを目標として、密集市街地整備アクションプログラムを策定し、土地区画整理事業による面整備事業や優先主要生活道路の拡幅整備など、地域の実情に応じた密集市街地対策に取り組んでいます。

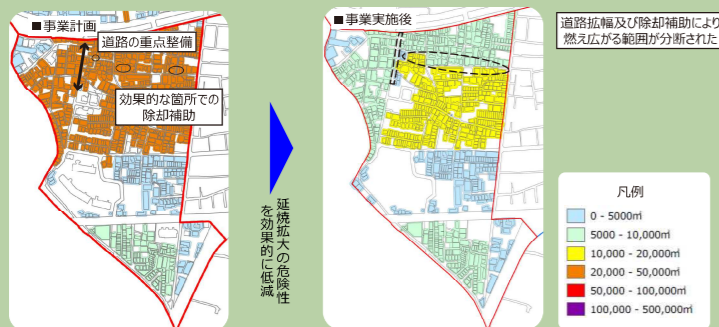
令和4年度末には、老朽木造建築物等の除却や土地区画整理事業の面整備事業により、北東部地区及び古川橋北地区のうち幸福町・垣内町が解消となりました。引き続き、大阪府の策定する密集市街地整備方針を踏まえて、評価指標を燃え広がりやすさを表す「想定平均焼失率（※2）」とし、市内全域の「地震時等に著しく危険な密集市街地」解消に向け、解消効果の大きい事業を重点的且つ計画的に推進してまいります。

整備方針

①まちの防災力向上

確実な解消に向け、「GIS（※3）」を用いて、延焼危険性を効果的に低減できる箇所を特定し、積極的な道路等の重点整備や老朽建築物の重点除却を推進する。

- ・優先主要生活道路の整備（小路町・元町・本町・石原町・大倉町の道路整備）
- ・老朽木造建築物等の除却（特に延焼危険性が高い地域の重点化）



②地域防災力のさらなる向上

- ・地域防災力を一層向上させるため、地域への支援を強化
- ・地域特性に応じた防災活動への支援強化（枚方土木事務所と連携）
- ・多様な主体と連携した防災啓発の推進（消防や大学と連携）

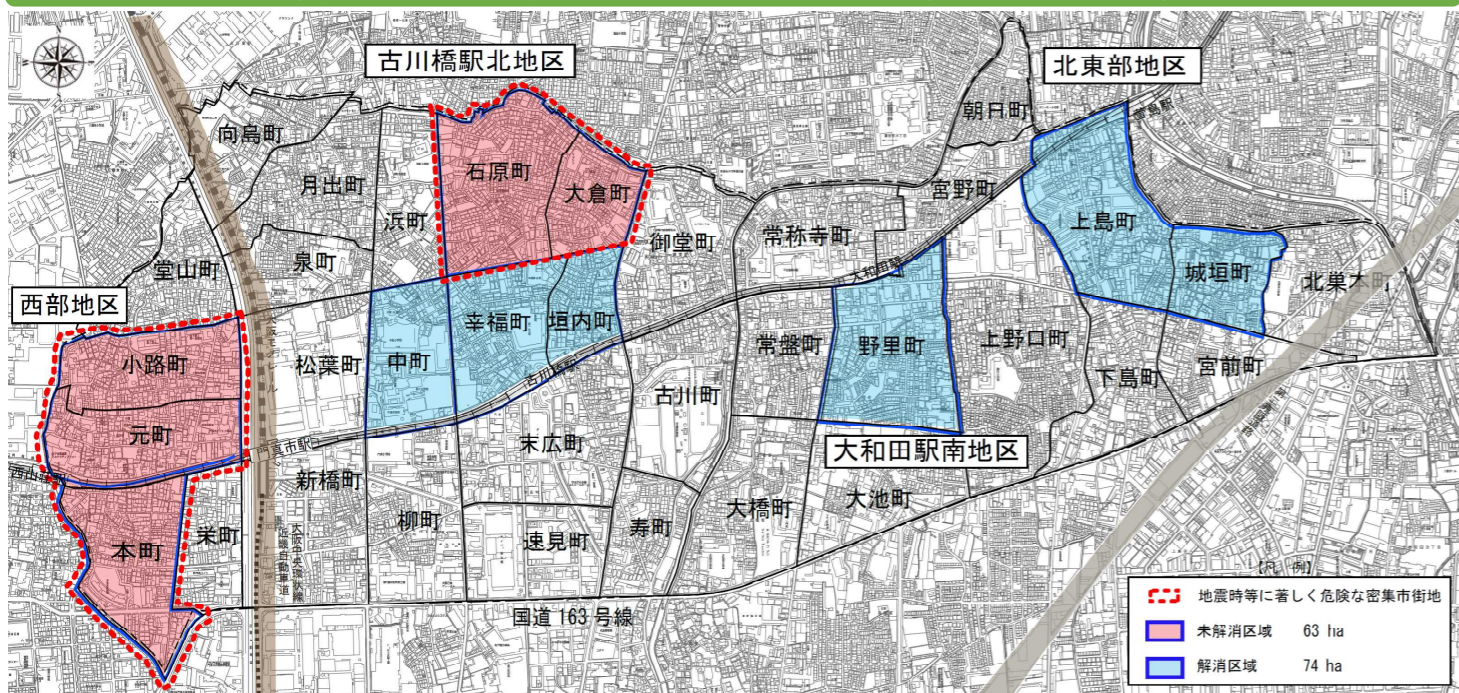
- (1)家族単位で備える
  - ・感震ブレーカーの設置促進
  - ・家具転倒防止器具の設置促進 など
- (2)地域単位で備える
  - ・消防水利・消防機器の充実
  - ・防災備蓄倉庫等の整備 など

- (3)地域防災力の実行性を高める
  - ・地域防災情報の充実
  - ・防災訓練の実施
  - ・防災パトロールの実施
  - ・防災機能の維持管理 など

③魅力あるまちづくり

- ・複合的な都市機能の集積と賑わいのあるまちづくり  
⇒古川橋駅周辺
- ・駅前空間の魅力あるまちづくりの実現  
⇒大和田駅周辺
- ・居心地がよく歩きたくなるまちの創出と公民連携のまちづくり

門真市北部地域の地震時等に著しく危険な密集市街地（令和6年3月末時点）



門真市北部地域（約461ha）の内、想定平均焼失率が23.0%未満かつ「地区内閉塞度（※4）」が3以上の町単位で連携する区域。

整備目標

令和7（2026）年度までに地震時等に著しく危険な密集市街地（石原町・大倉町除く）の解消を目指す

令和12（2031）年度までに地震時等に著しく危険な密集市街地（全域）の解消を目指す

用語解説

- ※1 地震時等に著しく危険な密集市街地  
密集市街地のうち、延焼危険性又は避難困難性が特に高く、地震時において、大規模な火災又は道路閉塞による地区外への避難経路の喪失の可能性があり、生命及び財産の安全性の確保が著しく困難で、重点的に改善が必要な密集市街地をいう。平成24年10月に国土交通省から全国の状況が公表され、当初は、全国で17都府県197地区5,745haが指定され、大阪府内においても7市11地区2,248haが指定された。
- ※2 想定平均焼失率  
市街地大火の危険性を判定するための市街地の「燃え広がりやすさ」を表す指標で、その評価範囲内の1棟で出火があった場合、延焼がどの程度広がるかを評価する期待値を示す。  
想定平均焼失率の整備水準が20～25%未満とされていることを踏まえ、大阪府ではこれまでの不燃領域の整備水準と整合を図る観点から想定平均焼失率の整備水準を23.0%未満としている。
- ※3 GIS  
地理的位置を手掛かりに、位置に関する情報を持ったデータ（空間データ）を総合的に管理・加工し、視覚的に表示し、高度な分析や迅速な判断を可能にする技術。
- ※4 地区内閉塞度  
建物倒壊による道路閉塞または火災による延焼の影響を受けずに、被災場所から地区外に避難できる確率であり、幅員6m以上の道路延長、細街路の延長等から算出する。結果が5段階中、1または2であれば閉塞する危険性は小さいとされる。

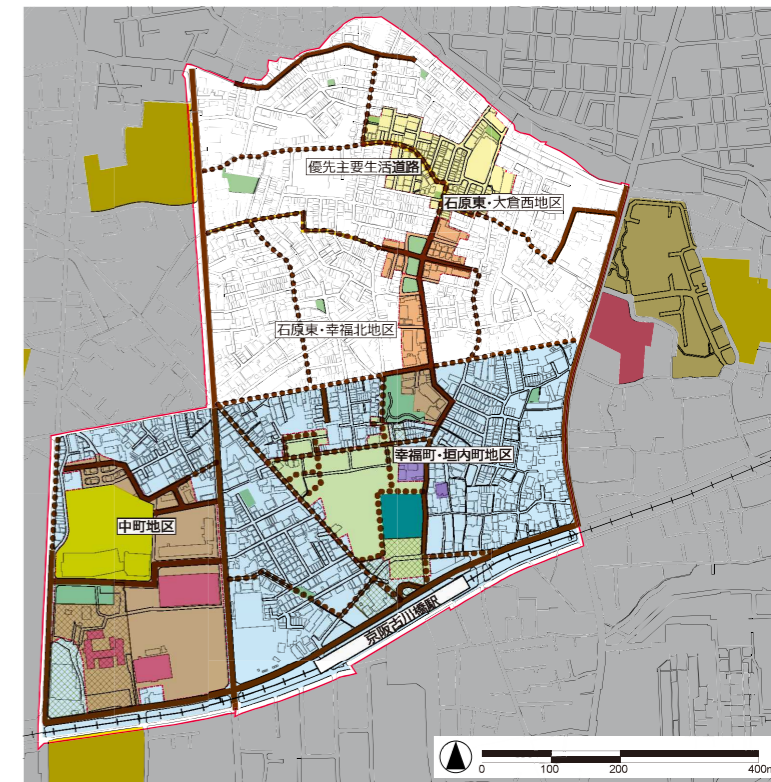
整備計画図

○西部地区（約39ha）



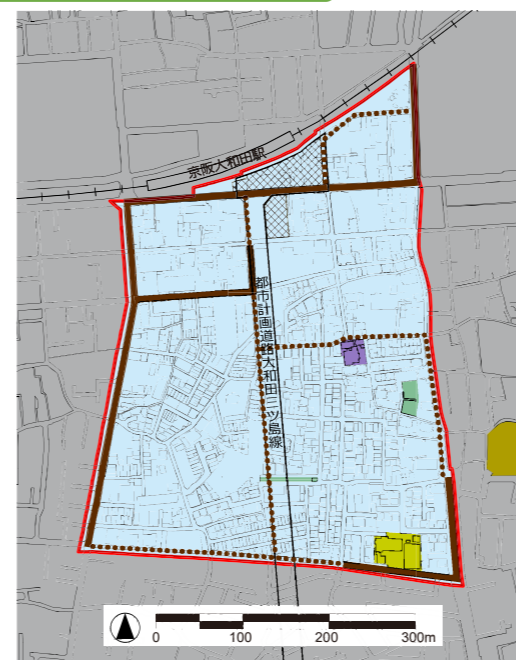
評価範囲	面積	評価指標 (想定平均消失率)	解消年度
①小路町・元町	25ha	35.4%	R7年度末（予定）
②本町	14ha	28.4%	R7年度末（予定）

○古川橋駅北地区（約54ha）



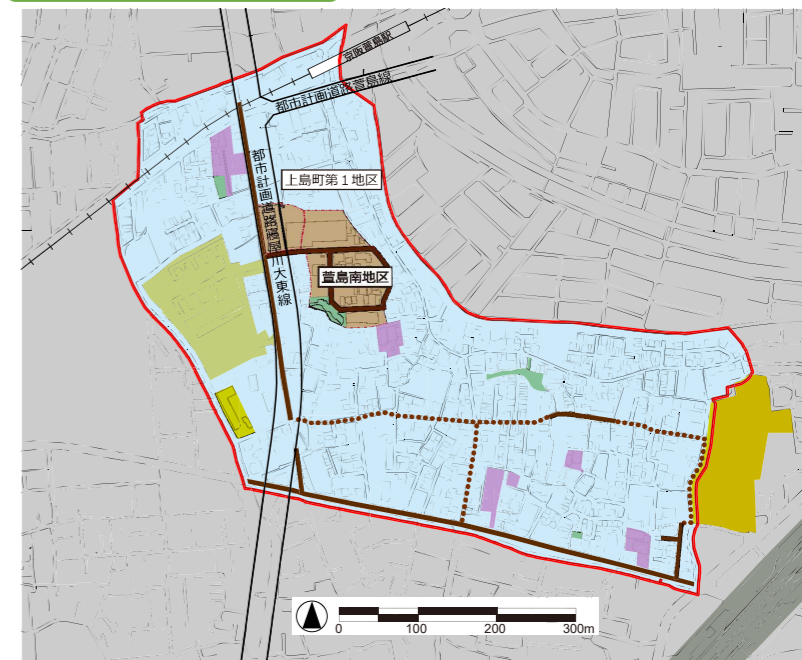
評価範囲	面積	評価指標 (想定平均消失率)	解消年度
①石原町・大倉町	24ha	74.3%	R12年度末（予定）
②幸福町・垣内町（解消済）	18ha	—	R4年度末
③中町（解消済）	12ha	—	R2年度末

○大和田駅南地区（約17ha）



評価範囲	面積	評価指標 (想定平均消失率)	解消年度
野里町（解消済）	17ha	—	R2年度末

○北東部地区（約27ha）



評価範囲	面積	評価指標 (想定平均消失率)	解消年度
上島町・城垣町（解消済）	27ha	—	R4年度末

凡例

地震時等に著しく危険な密集市街地	地震時等に著しく危険な密集市街地（解消）	主要生活道路 整備済	整備中・整備予定	優先主要生活道路	面整備地区	面整備地区（実施中）	教育施設	公共施設	公共施設（計画）	公営住宅	公共施設	社寺	現況公園・広場	公園・広場（計画）
------------------	----------------------	---------------	----------	----------	-------	------------	------	------	----------	------	------	----	---------	-----------